

## 米田地区支え合いづくり

### ニュース 1号

令和4年11月

米田地区支え合いづくり協議会

会長 石堂 求

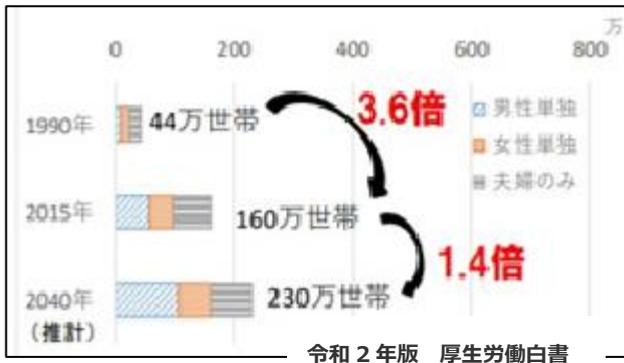
事務局：高砂市社会福祉協議会 地域福祉課

生活支援コーディネーター 岡田

電話 079-443-3725

#### 「ちょっとした手助け」必要！今後25年で230万世帯に増加

日頃のちょっとした手助けを得られず、生活の支えが必要と思われる高齢者世帯は、過去25年で3.6倍となり、今後25年で1.4倍に増加見込み



前号で「高齢者（65～79歳）の体力・運動能力は、上昇傾向にある」と掲載しました。

一方で、日頃のちょっとした手助けを得られず、生活の支えが必要と思われる高齢者世帯は、1990年から2015年の25年間で44万世帯から160万世帯と3.6倍に増えています。

更に25年後の2040年には、1.4倍の230万

世帯まで膨らむ予測です。

厚労省の担当者は、今後、地域で共に支え合う活動、相互のネットワークの構築が必要になると強調し、「これまで増えてきた生活支援のニーズは、ケアマネジャーやホームヘルパーなどがなんとかカバーしてきた面がある。今後はそれだけでは厳しい。どう支えていくかが大きな課題だ。」と指摘しているそうです。



介護支援が必要な方の増加が見込まれ、介護予防・状態の維持向上を図る地域での取り組みが必要です。支え合いづくり協議会は、地域で高齢者を支え、要介護者を増加させない仕組みづくりに向け活動します。

## 塩市いきいきサロン



塩市いきいきサロンを紹介します。

2年8か月ぶりの開催とあって三線、三味線、太鼓の演奏と多彩でした。参加者も30人以上と多く演奏を楽しんでいました。民生委員・福祉委員の方が

お世話されています。コロナ前は年12回開催で自治会などの行事も復活していますので、今後は毎月開催したいとのことです。

塩市ではサロンの他に月1～2回子育て広場を開催しています。

#### 協議会の参加団体

- 地区福祉推進委員会
- 地区連自治会
- 地区民生委員・児童委員会
- 町老人クラブ連合会
- 町連合婦人会